



学校評価アンケート調査結果
報告書

令和3年度



2022年1月31日

宮城県柴田農林高等学校

<目次>

令和3年度 学校評価アンケート実施概要	2 頁
I 集計結果および各部コメント	3 頁
II 過去3年間の比較グラフ	11 頁



令和3年度 学校評価アンケート実施概要

1 目的

- (1) 教育活動の改善策を立てるために、高校教育課による「学校評価実施要項」に基づき、学校を総合的・客観的に評価する。
- (2) 本校自らが教育計画の達成度を点検し、その結果を明らかにすることで、保護者及び地域住民の方々から理解され、支持される高校づくりを進める。

2 調査対象 及び 人数

教職員・・・・・・・・・・62名 (校長・教頭・主幹教諭・教諭・養護教諭・実習教諭・実習講師・実習助手・講師(養護担当を含む)・事務室長・事務次長・主任主査・主事(学校司書含む))

生徒数・・・・・・・・・・350名 (8月27日 ※夏休み終了時点の在籍数)

保護者・・・・・・・・・・約340名 (PTA 保護者会員数)

地域住民・・・・・・・・・・約30名 (大河原駅長 および 上川原地区各区長 ※郵送)

本校学校評議員・・・・・・・・6名

合計・・・・・・・・・・約788名

3 期 日 令和3年 11月9日 (火) ～11月19日 (金)

4 回収数・回収率

① 生徒	317名 (90.6%)
② 保護者	221名 (65.0%)
③ 無作為に抽出した地域住民	16名 (55.2%)
④ 教職員 (非常勤講師は含まず)	51名 (92.7%)
⑤ 学校評議員	6名 (100%)

5 結果のまとめ (結果の集計方法)

回答のうち、1 (よく当てはまる) 2 (だいたい当てはまる) を、質問の通りだと感じていると評価し、3 (あまり当てはまらない)、4 (当てはまらない) を質問のとおりではないと評価して、人数と全回答者からの割合をまとめたものである。分析結果は4ページ以降のとおり。



I

集計結果

および

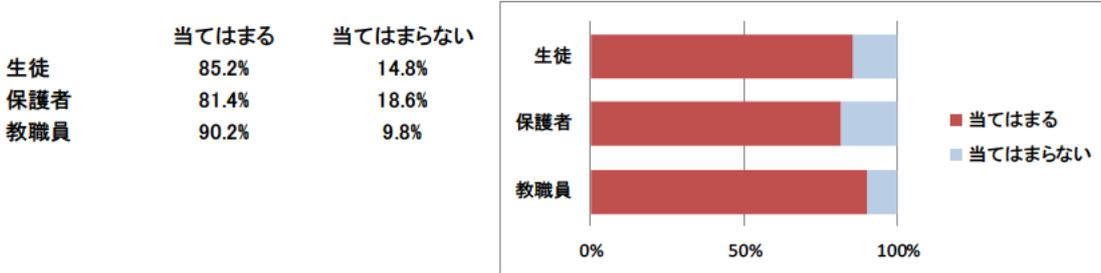
各部コメント



令和3年度 学校評価アンケート 【生徒・保護者・教職員】

設問1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

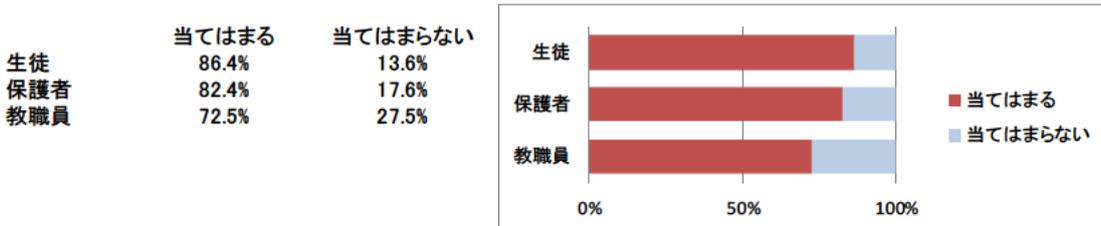
(教務部)



設問の解釈が三者共に同じなのか疑問なところがある。保護者データは過去3年間81%を推移している。過去3年間のデータを比較して、大きく変動が見られたのは生徒データR1年78%→R2年87%→R3年85.2%となっており2%の微減となった。逆に教職員はR1年88.5%→R2年82.7%→R3年90.2%と7.5%増となった。教職員の増の要因としては授業評価アンケートの継続により、「学ぶ意欲を引き出す」魅力的な授業や「学力を身につけられる」授業に対する授業改善を行っているからだと解釈している。

設問2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

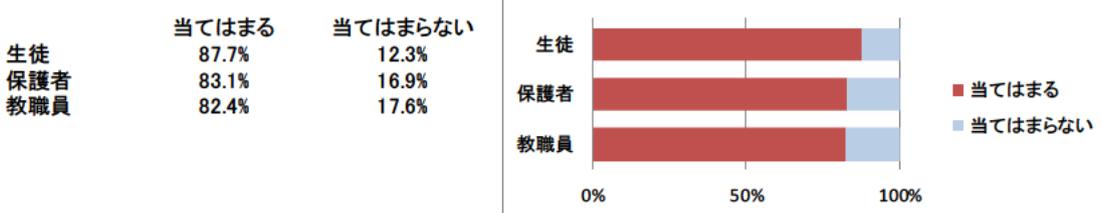
(生徒指導部)



校内で挨拶をする生徒は増えてきているが、逆に無視する生徒が目立ち始めているように思われる。また、遅刻生徒は相変わらず多く、保護者と連携したり、遅刻者指導を徹底するなど、生活習慣の改善に取り組まなければならないと思う。

設問3 進路指導目標をはっきりさせるための適切な指導が行われている。

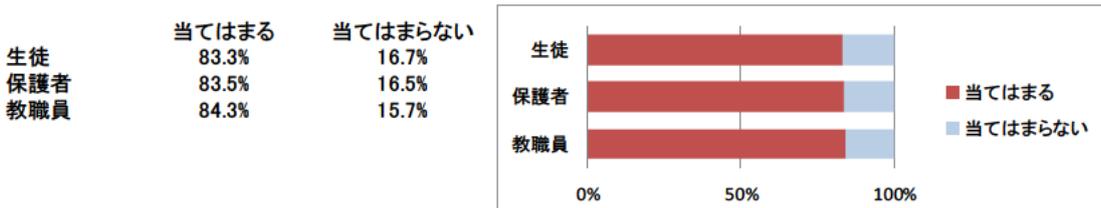
(進路指導部)



生徒・保護者・教職員ともに80%を超えての評価なので、今後も実状に適した指導を進めていきたい。

設問4 教員やカウンセラーが相談に応じた対応ができている。

(保健相談部)

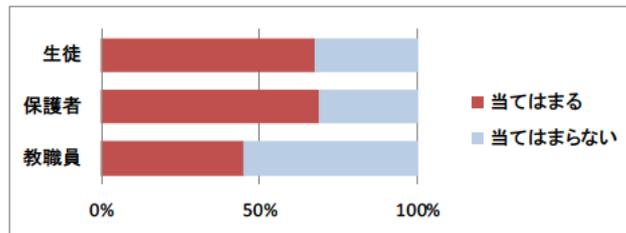


概ね例年通りの結果である。今後もSC、SSWと連携し、生徒や保護者の相談にきめ細やかに対応していきたい。さらに教育相談への理解を深めてもらえるよう、カウンセリング便り等、継続的な情報提供をしていく必要があると感じる。

設問5 柴田農林高校の部活動は活発に行われている。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	67.8%	32.2%
保護者	69.1%	30.9%
教職員	45.1%	54.9%

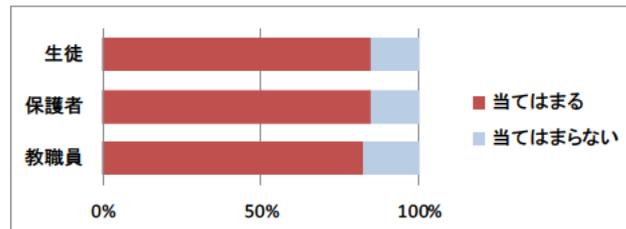


部活動加入率が相変わらず低く、不活発である。昨年度と比較すると生徒・保護者(約71%)は減少しているが、逆に教職員(約30%)は増加している。部活動に対する在り方・捉え方に差があり、部活動を活発に行うことは顧問の意識・熱意など指導次第ではないか。(今年度の部活動加入率45.9%:昨年度48.2%)

設問6 柴田農林高校の生徒会活動・農業クラブ活動は活発に行われている。

(生徒指導部・農場部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	84.9%	15.1%
保護者	84.9%	15.1%
教職員	82.4%	17.6%



(生徒部)

今年度はコロナ禍の中、感染予防対策をしっかりと、昨年度より学校行事を実施できた。生徒会役員や専門委員会の生徒が主体的に活動できるようになってきたと思われる。

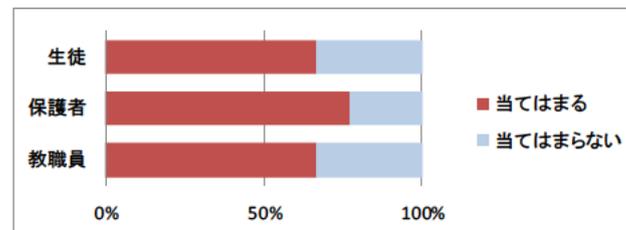
(農場部)

コロナ禍の中、感染予防対策が定着してきたが、やむを得ず開催できなかった行事もあり、生徒の活躍場面が減ったことは残念である。そのような状況下で準備だけではあったが農業クラブ東北大会プロジェクト発表会という重要なイベントに、クラブ員たちが協力して取り組んでいる姿が見られた。

設問7 柴田農林高校の学校行事は楽しく充実している。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	66.2%	33.8%
保護者	77.2%	22.8%
教職員	66.7%	33.3%

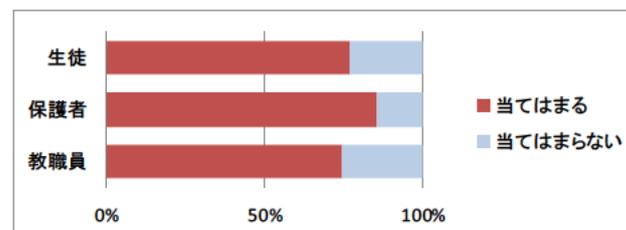


昨年度と比較すると、生徒63.0%⇒66.2%、保護者70.2%⇒77.2%、教職員55.7%⇒66.7%。いずれも少し向上している。今年度はコロナ禍ではあったが、感染予防対策を徹底しつつできるだけ多くの行事を行うことができた。そのため、昨年度より若干評価が高くなったが、完全にコロナ以前と同じ形での行事ができていないので、生徒の評価が低くなるのは、ある程度仕方がないことかもしれない。各行事の担当者は本当に工夫して実施しているが、今後も再度、努力していきたい。

設問8 柴田農林高校は、学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	76.9%	23.1%
保護者	85.4%	14.6%
教職員	74.5%	25.5%

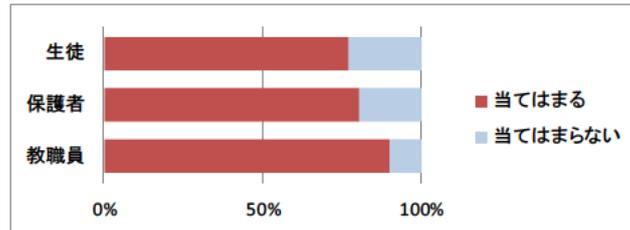


昨年度と比較すると、生徒78.8%⇒76.9%、保護者82.5%⇒85.4%、教職員71.2%⇒74.5%で、ほぼ同じ程度の評価と言える。コロナ禍でいろいろな教育活動が制限されるため、中でも試行錯誤が続いているが、今後も努力を積み重ねていかなければならないところである。柴田農林高校の『強み』を意識して前面に押し出す工夫が必要と考えている。

設問9 生徒に対して災害時・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	77.0%	23.0%
保護者	80.7%	19.3%
教職員	90.2%	9.8%

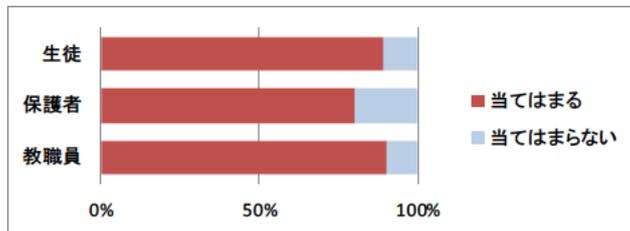


昨年度と比較して、生徒77.1%⇒77.0%、保護者78.8%⇒80.7%、教職員80.2%⇒90.2%で、生徒、保護者の評価はほぼ横ばいだが、教職員の評価が10ポイントほど上昇している。コロナ禍ではあったが、春は全員グラウンドに避難する避難訓練を行い、冬は火災を想定して学年毎に避難訓練を実施するなど、工夫して訓練を実施した。冬場の避難訓練では、動画視聴を採り入れて防災教育を行うなど、生徒に分かりやすいように工夫した。

設問10 保護者に対して、学校だよりなどによって学校の情報が適切に伝えられている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	89.3%	10.7%
保護者	80.0%	20.0%
教職員	90.2%	9.8%

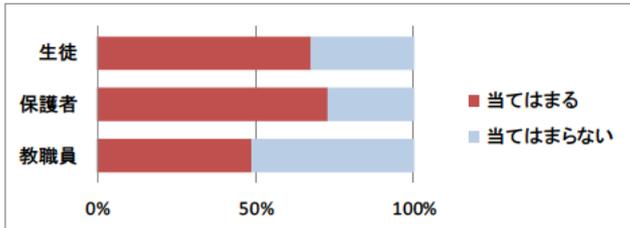


昨年度と比較して、生徒86.7%⇒89.3%、保護者73.5%⇒80.0%、教職員88.5%⇒90.2%で、保護者の評価が高くなっているが、生徒、教職員の評価はほぼ横ばいである。学校だよりは昨年度よりも内容が充実していると思われるが、生徒の手を通じて保護者にわたっている確率が低いのではないかと。Webサイトとの連携など広報の方法を検討しても良いかもしれない。

設問11 柴田農林高校の校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	67.5%	32.5%
保護者	72.9%	27.1%
教職員	49.0%	51.0%

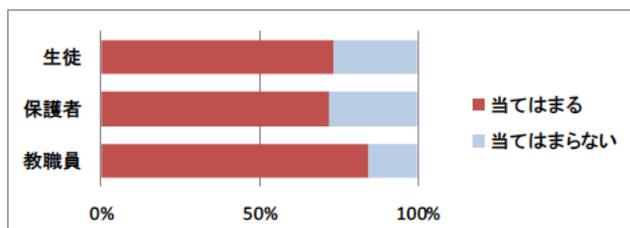


昨年度と比較して、生徒73.2%⇒67.5%、保護者70.9%⇒72.9%、教職員42.3%⇒49.0%で、生徒の評価が下がっており、教職員の評価が若干向上しているが50%を超えているわけではないので、低い評価に留まっていると思われる。新設校の工事に伴いテニスコートが撤去されたり、ビニールハウスの位置が変わったりしており、いろいろと不便になっているためと思われる。ICT教育や、リモート授業に必要なネット環境や機材なども不足しているため、教職員の評価が低くなっていると思われる。

設問12 柴田農林高校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	73.5%	26.5%
保護者	72.0%	28.0%
教職員	84.3%	15.7%

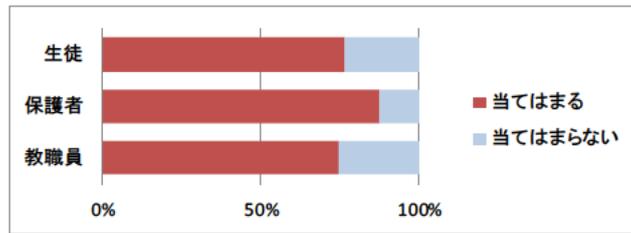


定期的なアンケートで情報収集をしている。問題が大きくなる前に担任、学年の段階で素早い対応が取れているところがある。感謝いたします。生徒・保護者にとっては「いじめ」「からかい」も同じなので、見えないところではまだ多いと思われる。今後もアンテナを高くし、全職員で情報を共有し、早期発見・早期対応に取り組んでいきたい。

設問13 {自分にとって／私の子供の／生徒の}学校生活は充実している。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	76.7%	23.3%
保護者	87.8%	12.2%
教職員	74.5%	25.5%

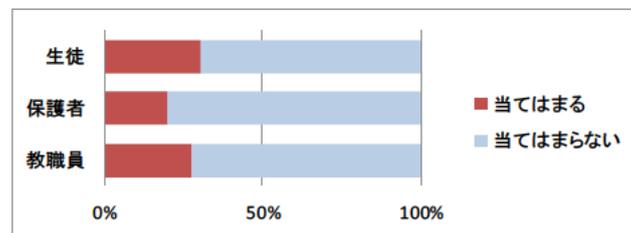


昨年度と比較して、生徒76.0%⇒76.7%、保護者85.6%⇒87.8%、教職員82.7%⇒74.5%で、生徒・保護者はほぼ横ばい、教職員は低くなっているという結果だ。コロナ禍でも生徒は自分なりにうまく目標を見いだして、それに向けて努力することで充実して学校生活になっていると解釈できるのではないか。

設問14 柴田農林高校は宿題・課題が多い。(生徒・保護者)
生徒に宿題・課題が多く出されている。(教職員)

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	30.3%	69.7%
保護者	19.8%	80.2%
教職員	27.5%	72.5%

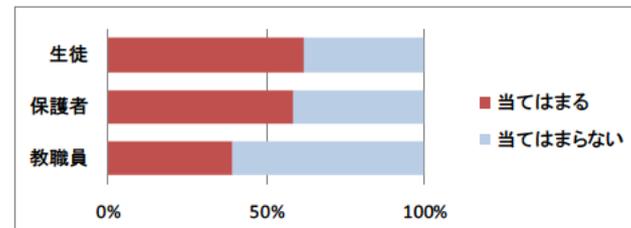


この設問の意図が複数に取られるものである。(宿題。課題を出さなければ良い先生なのか、また多く出せば学力向上に繋がるのか?)学習は毎日の積み重ねである。教科担当者が生徒にどの力を伸ばせたいのか、目標をどこに置くのかによって大きく変わってくると思う。この設問の回答だけは過去3年間他設問の中で一番低い数値である。

設問15 {私は／私の子供は}テスト前に{1日1時間以上}勉強している。(生徒・保護者)
生徒はテスト前、熱心に勉強している。(教職員)

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	61.9%	38.1%
保護者	58.4%	41.6%
教職員	39.2%	60.8%

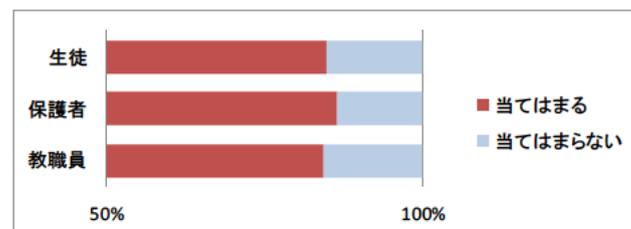


過去3年間のデータと比較してみると、生徒データR1年54.2%→R2年61.6%→R3年61.9%、保護者データR1年58.9%→R2年63.7%→R3年58.4%、教職員データ1年28.8%→R2年42.2%→R3年39.2%となっており、昨年度新型コロナウイルス感染症により政府がロックダウンを行い、6月に授業が開始された影響もあり(学校から出された課題に取り組む時間があつたためと推測している。)生徒、保護者データが60%台を推移していた。

設問16 私は柴田農林高校の校則を{守っている(生徒)／知っている(保護者・教職員)}。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	84.8%	15.2%
保護者	86.4%	13.6%
教職員	84.3%	15.7%



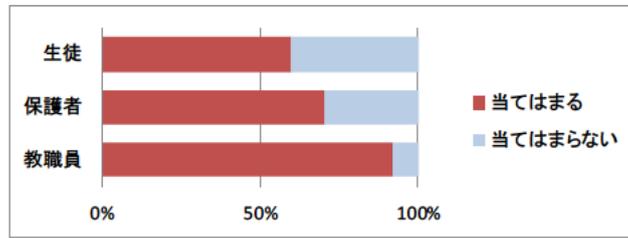
学年間での温度差がかなり見られる。服装・頭髪の乱れから正し、申請・許可などについては所定の手続きの周知に努めていきたい。

設問17 私は柴田農林高校の卒業生の進学先・就職先について

(進路指導部)

{よく知っている(生徒)/十分な情報提供を受けている(保護者)/十分な情報提供をしている(教職員)}。

	当てはまる	当てはまらない
生徒	60.0%	40.0%
保護者	70.6%	29.4%
教職員	92.2%	7.8%

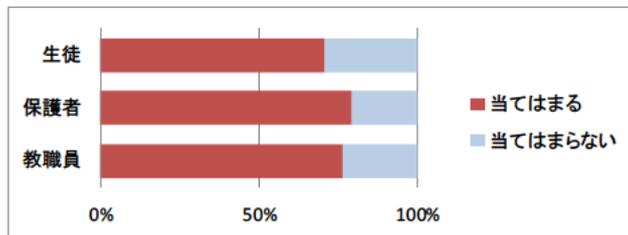


生徒60%、保護者70%と低迷しているが、進路部では「進路のしおり」「スキルアップ学習」を配付しており、その中に十分な情報がある。しかし、年間の使用頻度が極めてすくない。また、三者面談においても進路の話まででないのが低調の原因と考えられる。まずはもっと活用していただきたい。

設問18 [私の/私の子供の]クラスはまとまりのある良いクラスである。(生徒・保護者)
柴田農林高校の学級経営はスムーズに行われている。(教職員)

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	71.0%	29.0%
保護者	79.2%	20.8%
教職員	76.5%	23.5%

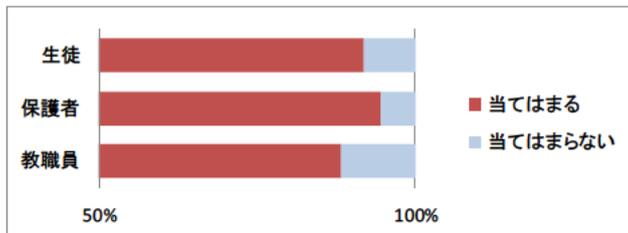


昨年度と比較して、生徒65.8%⇒71.0%、保護者73.5%⇒79.2%、教職員82.7%⇒76.5%で、生徒・保護者は向上が見られたが、教職員は低くなっていた。各クラス担任は、常に生徒のことを案じつつ、学級経営に努力しているので、生徒・保護者の理解を得ることができているが、教職員としては厳しく自己反省をしているとも捉えられる。

設問19 柴田農林高校の農業教科の内容は充実している。

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	91.9%	8.1%
保護者	94.5%	5.5%
教職員	88.2%	11.8%

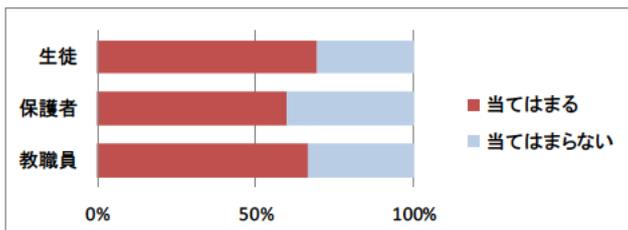


過去3年間のデータを比較してみると、生徒データR1年85.2%→R2年88.4%→R3年91.9%、保護者データR1年94.5%→R2年95.8%→R3年94.5%、教職員データR1年88.1%→R2年88.5%→R3年88.2%となっており、保護者データが昨年度より1.3%減となったが、生徒、教職員とも微減であるがupとなった。学習指導要領も改訂となり、評価に対する根拠等を明確にすることが改訂の目的である。生徒の良いところを伸ばす教育を考えていきたい。

設問20 柴田農林高校の校訓を知っている。(生徒・保護者)
生徒等に柴田農林高校の校訓の周知を図っている。(教職員)

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	69.7%	30.3%
保護者	60.1%	39.9%
教職員	66.7%	33.3%



昨年度のデータと比較してみると、生徒64.4%⇒69.7%、保護者58.7%⇒60.1%、教職員67.3%⇒66.7%で、若干の向上が見られるが、ほぼ横ばいと言ってよい結果である。校訓を各クラスに掲示して、生徒は常に目にするようになってはいるが、浸透度は低いようである。さらなる工夫が必要と思われる。

令和3年度 学校評価アンケート 集計結果 (地域住民)

設問1 柴田農林高校の生徒は、実習に熱心に取り組んでいる。



(コメント)昨年度86.7%⇒今年度91.3%。
昨年度と比較して5ポイントほど向上した。昨年度は10ポイントほど低下したので、向上したことは嬉しいと思う。しかし、この設問は一昨年までは95%を超える高い評価だったので、今後もさらなる努力が必要かと思われる。

設問2 柴田農林高校の教職員は地域住民への対応が丁寧で良い。



(コメント)昨年度73.3%⇒今年度85.7%
10ポイント以上向上した。校門付近での立哨指導や、販売実習での態度などが評価されているのではないだろうか。

設問3 柴田農林高校の生徒は地域で良い評価を受けている。



(コメント)昨年度73.3%⇒今年度91.3%
大きく向上したと思われる。登下校時に交通マナーを守らないなどの批判的な意見は相変わらずあるものの「販売実習の時に丁寧な対応をしてくれた」など、好意的な意見もたくさん寄せられている。

設問4 柴田農林高校の生徒達は、挨拶をするなどマナーがよい。



(コメント)昨年度40.0%⇒今年度50.0%
昨年度より10ポイント向上しているが、本来この項目は80～100%位の高い評価をいただきたいと思う項目である。この結果を素直に受け止めて、今後の生活指導に反映させなければならない。

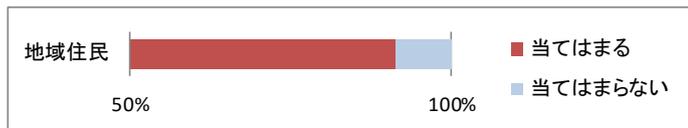
設問5 私は柴田農林高校の制服に好感が持てる。



(コメント)昨年度73.3%⇒86.4%
昨年度よりも大きく向上したが、まだまだと言えるか。生徒の着こなしについての指導や、髪型、装飾品などに関する指導を徹底する必要があるかもしれない。

設問6 柴田農林高校の販売実習は、地域住民に好評である。

地域住民 当てはまる 91.3% 当てはまらない 8.7%

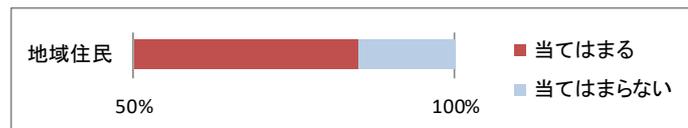


(コメント)昨年度87.5%⇒今年度91.3%

生徒と販売実習担当の教職員が一体となって改善に取り組んだ結果、評価が高くなったものと思われる。今後もよりよいものを目指して、取り組んでいきたい。

設問7 柴田農林高校の部活動は活発である。

地域住民 当てはまる 85.0% 当てはまらない 15.0%

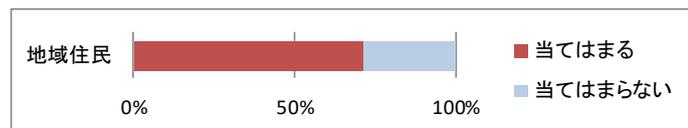


(コメント)昨年度66.7%⇒今年度85.0%

昨年度に比較して大きく向上したように見える。地域住民にとっては、校門前の掲示物や、グラウンドで活動している部活動の様子を見て判断している側面がある。

設問8 柴田農林高校は地域に開かれた学校で地域の教育活動にも協力している。

地域住民 当てはまる 71.4% 当てはまらない 28.6%

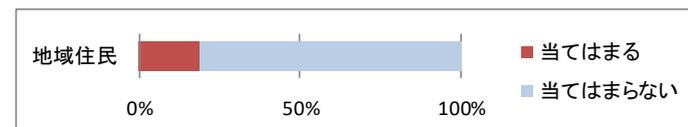


(コメント)昨年度66.7%⇒今年度71.4%

昨年度よりも評価が少し高くなったが、もう少し高めたいところである。コロナ禍で苗販売などを大々的に宣伝することができなかったことなどが、影響しているものと思われる。

設問9 私は、柴田農林高校ホームページその他の広報活動を知っている。

地域住民 当てはまる 19.0% 当てはまらない 81.0%

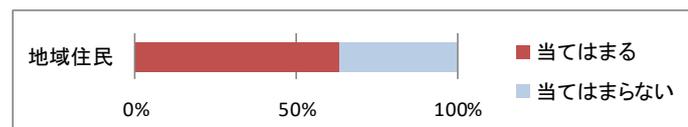


(コメント)昨年度35.7%⇒今年度19.0%

昨年度に続いて、今年度も大きく低下した。広報については、抜本的に再検討する必要がある。

設問10 私は、機会があれば柴田農林高校の授業の様子をみてみたい。

地域住民 当てはまる 63.6% 当てはまらない 36.4%



(コメント)昨年度28.6%⇒今年度63.6%

今年度は大きく向上した項目である。地域住民の方々が、温かい目で本校を見てくれていると感じる結果であった。

Ⅱ

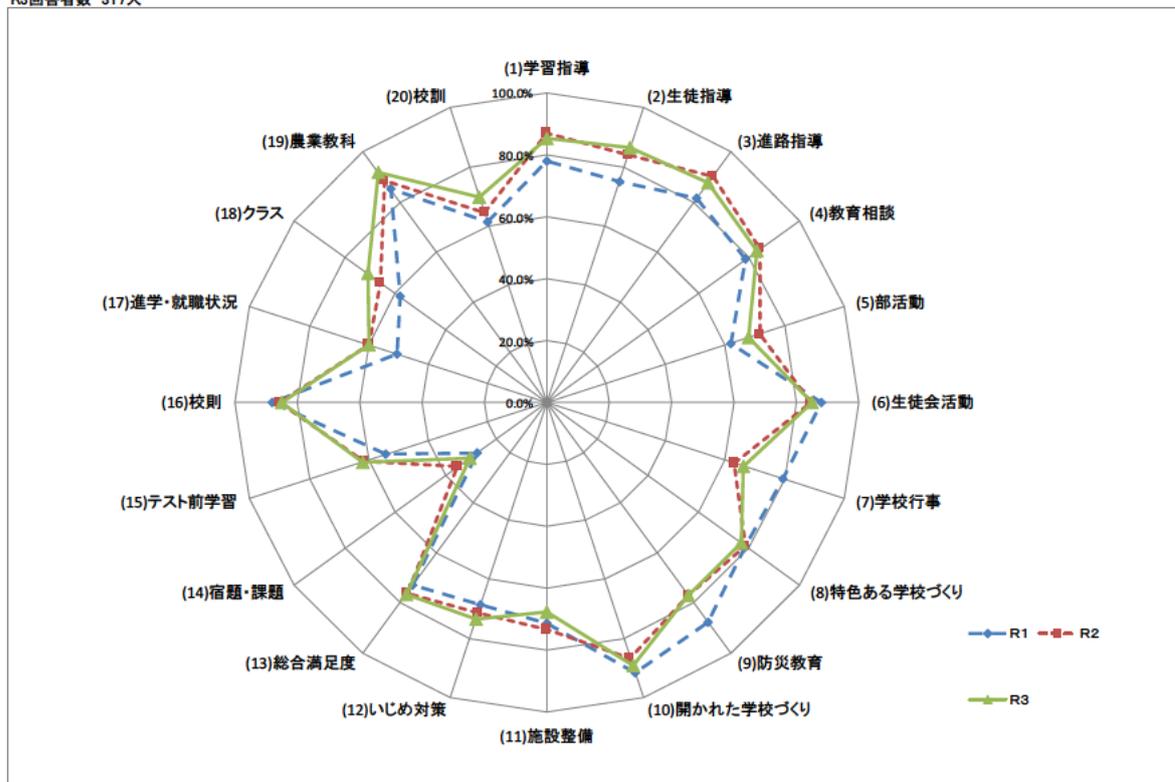
過去3年間の比較グラフ

(生徒・保護者・教職員)

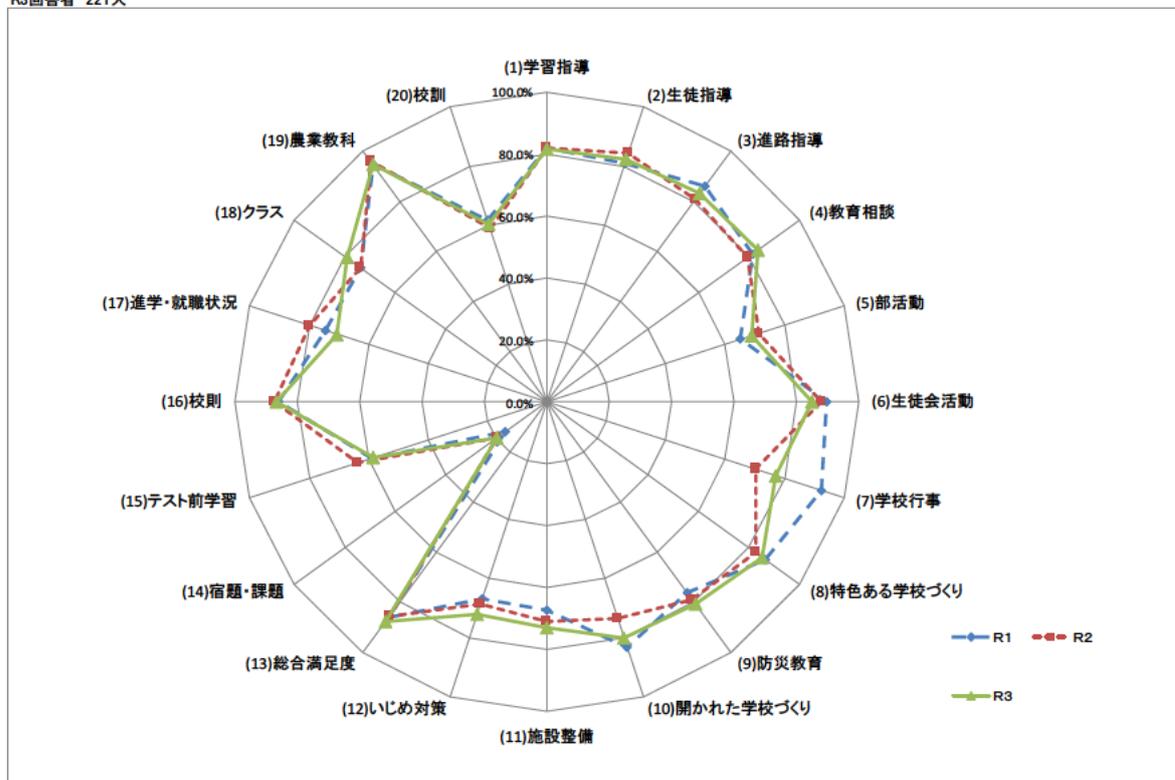


「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」の割合の合計比較

<生徒> R1回答者数 264人
R2回答者数 354人
R3回答者数 317人



<保護者> R1回答者 244人
R2回答者 190人
R3回答者 221人



<教職員> R1回答者 61人
 R2回答者 52人
 R3回答者 人

